



- 平成7年度一般会計当初予算——2～3
- 平成7年度重点施策——4～5
- 町職員・教職員の人事異動——6
- 町職員組織表——7
- 小中学校入学式——8
- 親月台公園親水施設仮オープン——9
- お知らせ——10～11
- 公民館だより——12～13
- トピックス——14



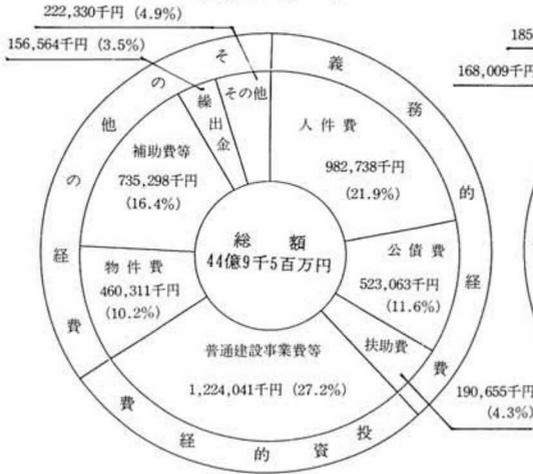
入所式

「何が入っているんだろう？」

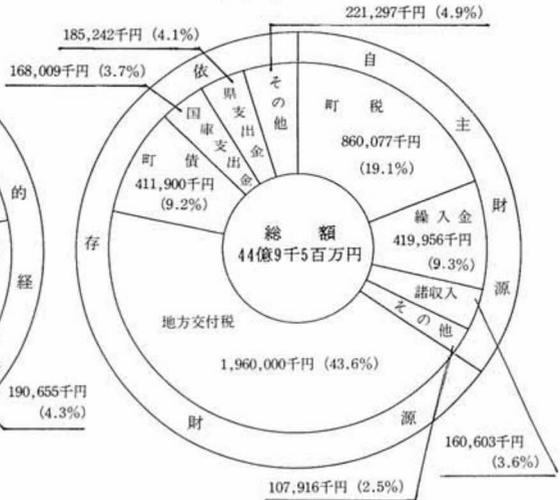
(4月5日 藤田保育所で)



歳出



歳入



づくりに44億9千5百万円

町の家計簿である平成七年度予算が、三月定例議会で審議、可決されました。

二十一世紀を展望、「豊かで住みよい活力あふれる町づくり」「心の豊かな人間尊重の町づくり」を基本目標に、平成七年度も施策の推進が図られます。

今月号では、平成七年度にどのような町づくりが進められるかをお知らせします。

予算編成に当たって

町の予算に大きな影響を及ぼす国の予算編成は、公債残高累積体質の脱却を目指し、歳出の抑制を図り、公債依存度の引き下げに最大限の努力を払うなど、行政改革を更に推進するという基本方針の下に厳しい予算となっております。

しかしながら、不況と所得税減税による減税財源として約二兆八千五百億円の赤字国債の発行、建設国債と合わせた国債発行額は二兆五千九百八十億円となり、七年度末の発行残高は二百十二兆円台に達する見通しで、財政の借金依存体質は依然として高いものとなっています。

この結果、一般会計予算規模は前年対比二・九%減の七十九億九千八百七十一億円となり、四十年ぶりの超緊縮型予算となつていきます。

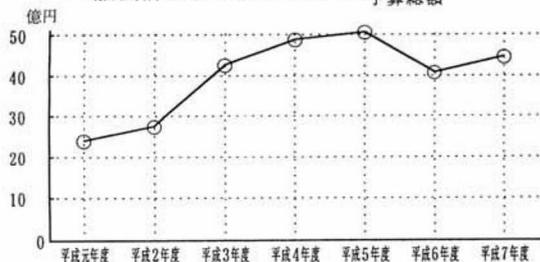
ています。

歳出においては、地方公共団体の指針となる社会資本の整備には、十九兆五千億円程度確保され、「ふるさとづくり事業」「地方特定道路整備事業」などのほか、社会福祉およびウルグアイラウンド農業化意に伴う農山漁村地域の活性化対策事業の一層の推進を図るとされています。

このような状況の下で、第三次国見町振興計画を基本として、町民生活の充実、町民福祉の向上を図るため積極的の各般にわたる施策の展開を図ってきたところでです。

平成七年度の予算編成に当たり、引き続き町政運営の目標を「豊かで住みよい活力あふれるふるさとづくり」「心の豊かさを持った人間尊重のまちづくり」をスローガンとして、中長期的視点に立って創意と工夫を凝らし、効果的な事業推進を図ると

一般会計当初予算の推移 一予算総額



1人当たりの予算は
373,960円



土木費
39,907円

教育費
59,531円

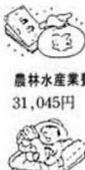
公債費
43,515円



衛生費
59,530円

総務費
63,040円

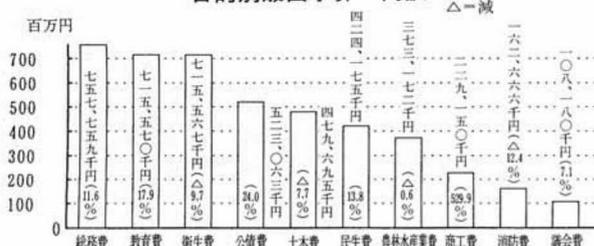
民生費
35,288円



農林水産業費
31,045円

議会費
消防費
商工費など
42,104円

目的別歳出予算の内訳 ()は対前年度比 △=減



平成7年度 一般会計予算

活力ある町

ともに、事務事業については、その必要性、効果、公平妥当性などの観点から徹底した見直しを実施することを予算編成の基本の考え方として編成したところである。

その結果、歳入歳出予算の規模は四十四億九千五百万円となり、対前年比三億九千七百万円、九・七％の増となりました。

歳入

自主財源の柱となる町税は、対前年比約三％増の八億六千七百万円を見込みました。

歳入の大宗を占める地方交付税は、対前年比八・九％増の十九億六千万円を計上しました。

国庫支出金は、公営住宅建設事業費などの減により一億六千八百九十九円を見込み、県支出金は、農村総合整備モデル事業補助金など一億八千五百二十四万二千円を計上しました。

繰入金金は、上野台運動広場建設事業、仮称大木戸ふれあいセンター建設事業、勤労者福祉施設建設事業の推進に、財政調整基金、ふるさと振興基金、土地開発事業特別会計から四億一千九百九十五万六千円を繰り入れるとともに、諸収入には、水資源対策費など一億六千六十万

三千円を計上しました。

町債には、地域総合整備事業の上野台運動広場建設事業、さらに仮称大木戸ふれあいセンター建設事業、福島地方行政事務組合出資金などに合わせて四億一千九十万円を計上しました。

その結果、税等の一般財源は三十二億四千八百二十七万三千円となり、歳入全体に占める割合は七十二・三％となっています。

歳出

歳出では、継続事業として進めている上野台運動広場建設事業二億八千六百五十九万五千円、仮称大木戸ふれあいセンター建設事業七千二百五十万円、水資源対策費八千四百五十万円をはじめ、町道整備事業、農林道整備事業費等を計上し、投資的経費の総額は十二億二千四百四万一千円となりました。

このほか、ソフト事業として老人デイサービス事業の一層の推進をはじめ、乳幼児医療費助成の一歳延長、婦人の健康診査に骨粗鬆症検診を加えるなどのほか、国際化、高齢化の進行、社会経済情勢の変化に対応した施策の推進にそれぞれ所要の経費を計上しています。

6つの柱を基本に

「豊かで住みよい活力あふれる町づくり」を推進

快適で住みよい町づくりの推進

道路の整備（維持管理及び新設改良）	302,949
河川等の整備	11,110
都市計画用途見直し調査等	8,575
板橋南宅地開発基本設計等	67,000
公共下水道事業	212,555
水道用水供給企業団出資金、負担金	60,435
水資源の確保（水資源対策事業）	80,445
ごみ処理対策	20,326
合併処理浄化槽設置整備補助	4,630
地籍調査事業の推進（藤田地区）	47,212

安心して暮らせる町づくりの推進

消防施設整備	12,443
常備消防組合負担金	119,191
各種検診および予防接種	14,362
国保会計繰出	58,292
人間ドック事業	8,755
老人保健会計繰出	35,918
公立藤田総合病院負担金	315,579
高齢者いきがい対策事業	12,415
在宅老人福祉対策	30,776
デイサービス事業	27,277
身体障害者福祉の推進	18,777
児童福祉の推進	107,132
町社会福祉協議会運営等補助	4,108
町社会福祉協議会委託事業	35,893



水環境事業（観月台公園）

国見町の将来を担う人材育成の推進

県北中体育館整備	31,642
学校給食の充実（給食センター分担金）	42,163
小中学校教材、備品の充実	10,945
社会教育の推進	7,344
文化事業の推進	21,584
スポーツの振興と団体育成	7,630
外国人青年招致事業（外国人英語教師）	4,984
日独スポーツ少年団交流事業	1,100

町民総参加の町政推進

地区懇談会の開催・広報活動の充実	3,582
町政功労者の表彰	988

行財政体制の充実

町内会等組織との連携強化	10,146
適正公正な課税の推進（土地鑑定評価業務）	6,448
電算化による事務の効率化	11,592
財務会計システム導入に伴う財政運営の効率化	8,270

特別会計・財産区会計 水道事業会計当初予算

私たちの生活に欠かすことのできない特別会計は、17億1,500万円、財産区会計は、1,900万円の予算が計上されています。

特別会計

(単位：千円) 対前年比%

国民健康保険	647,266 (△ 1.2)
老人保健	721,525 (14.0)
湯水対策施設	12,256 (1.5)
貝田簡易水道	9,270 (3.3)
育 英	4,775 (△ 6.3)
公共下水道	249,653 (12.2)
土地開発事業	71,200 (△89.1)
計	1,715,945 (△21.7)

財産区会計

(単位：千円) 対前年比%

入山財産区	19,471 (△ 6.7)
藤田財産区	287 (10.4)
大木戸財産区	179 (37.7)
計	19,937 (△ 6.2)

より質の高い生活用水の安定供給を目指し、水道事業会計の予算は次のようになっています。

水道事業会計

(単位：千円)

区 分	収 入	支 出
収 益 的 収 支	168,161	157,321
資 本 的 収 支	0	31,763

平成7年度 主要施策

活力ある町づくりの推進

(単位：千円)

国土利用計画策定	2,040
工業の振興育成 (工場等設置奨励金の交付)	1,345
商工会の育成補助等	6,750
中小企業金融対策 (預託金の増資)	16,000
労働者金融対策	2,720
勤労者福祉施設建設事業	200,279
水田営農活性化対策の推進	8,680
農業経営基盤強化促進事業	1,826
農業改良推進	2,074
新農産漁村振興特別対策事業	2,000
畜産の振興対策	2,507
農道等の整備	25,500
県営水環境整備事業負担金 (観月台)	25,000
県営圃場整備事業 (小坂地区)	13,579
大枝湛水防除施設整備事業負担金	15,470
農村総合整備モデル事業費	71,238
林道の整備	23,862
森林病害虫防除 (松食い虫)	9,210
後継者の育成	2,022
タウン情報ふるさとネットワーク	412
上野台運動広場整備事業	288,058
ふるさと振興基金積立	102,002
(仮称) 大木戸ふれあいセンター建設事業	75,700

町職員の人事異動

行政組織の充実を図る

町職員の人事異動が四月一日付で発令されました。

今回は、管理職三名を含む五名が退職したことに伴い、新たに五名の職員が採用されました。

また、多様な行政需要に対応するために全面的な行政機構の改革がなされました。

退職

▽渡辺 等(水道課長)
▽井砂研二(下水道課長)
▽天野英子(藤田保育所長)
▽佐藤春夫(稅務課主任)

▽中野孝雄(企画課主任主査)
▽古宮睦男 梁川町立山舟生小

教頭(生涯学習課
派遣社会教育主事)

新採用

▽稅務課課長 佐藤智明▽農
村整備課農地整備係 大勝宏二
▽稅務課課長 高橋美代子
▽建設課建設係 鋪水竜▽学
校教育課学校教育係 神英則

異動及び昇格

(一)内は旧任
▽都市整備課長(建設課長)須
田善治▽保健福祉課長(住民福
祉課長) 高橋弘信▽住民課長
(保健課長) 佐藤則雄▽農林整
備課長(農林課主任兼課長補佐
菊地孝吉)建設課長(建設課長
補佐兼建設係長) 後藤澄雄▽水

道課長(總務課長補佐兼庶務係
長) 吉田俊江▽藤田保育所長
(住民福祉課長補佐兼福祉係長)
小野野義▽住民課主任兼戸籍住
民係長(住民福祉課主任主査兼
住民係長) 松浦京子▽都市整備
課長補佐兼下水道係長(下水道
課主任主査兼下水道係長) 阿部
正▽總務課主任主査兼庶務係長
(總務課主任主査兼財政係長)
武田幹夫▽總務課主任主査兼財
政係長(農林課主任主査兼農林
振興係長) 佐藤政弘▽企画商工
課主任主査兼国土調査係長(企
計室主任主査兼出納係長) 武田
智▽稅務課主任主査兼稅務係長
(稅務課主任主査兼徵收係長)
渡辺アヤ子▽稅務課主任主査兼
収納係長(建設課主任主査兼管
理係長) 渋谷和洋▽農林課主任
主査兼農林振興係長(稅務課主
任主査兼課課長) 吉田吉夫▽
建設課主任主査兼維持管理係長
(農林課主任主査兼農林土木係

長) 八卷忠義▽保健福祉課福祉
係長(總務課主査文書係) 佐藤
弘利▽保健福祉課主任保健婦保
健推進係長(保健課主任保健婦
保健衛生係) 菅原文子▽農林整
備課農地整備係長(農林課主査
農林土木係) 村上健一▽建設課
建設係長(下水道課主任主査下
水道係) 遠藤喜正▽會計課出納係
(總務課主査財政係) 菅野信明
▽稅務課主任主査(農業委員会
事務局主任主査) 佐藤光一▽都
市整備課主任主査下水道係(企
画商工課主任主査企画商工係)
後藤登美子▽水道課主任主査業
務係(保健課主任主査国保係)
大波サト子▽稅務課主任主査固
定資産係(水道課主任主査業務
係) 中山エ子▽農業委員会事
務局主任主査(学校教育課主任
主査学校教育係) 菊地軽子▽企
画課主任主査国土調査係(企画
課主任主査国土調査係) 谷津富夫
▽水道課主任主査施設係(水道課
主任主査施設係) 赤坂富▽水道課
主任主査施設係(水道課主任主査
施設係) 佐藤光男▽總務課主査文書
広報係(生涯学習課主査文化係
引地真直▽保健福祉課主査福祉係
(住民福祉課主査年金係) 中田
利枝▽保健福祉課主任主査国保係
稅務課主査固定資産係) 武田
京子▽農林整備課主査農林整備
係(建設課主査建設係) 佐久間

正▽建設課主査建設係(農林課
主査農林土木係) 佐野功▽都市
整備課主査下水道係(農林課主
査農林振興係) 引地由則▽保健
福祉課主査福祉係(生涯学習課
主査管理係兼体育係) 飯沼正▽
總務課主査財政係(農林課主事
農村整備計画係) 羽根洋一▽住
民課主査生活環境係(稅務課主
事課課長) 佐藤光男▽農林整備
課主査農地整備係(建設課主事
係) 古川笑子

博▽南郷中(東北中)
安齋雅久

▽藤田小校長(伊達東小校長)
大槻太▽藤田小教頭(富野小教
頭) 大河内邦夫▽小坂小教頭
(養護教育センター) 原田徳好
▽東北中教頭(釜山中教頭) 遠
藤治一郎▽藤田小(富野小) 菅
野博輝▽藤田小(福島市立清明
小) 黒須ひさ子▽藤田小(大石
小) 穴澤ゆき子▽藤田小(新採用)
矢澤佐智子▽森江野小(二本松
市立大平小) 蓬田孝夫▽大木戸
小(瀬上小) 佐藤幸英▽大木戸
小(石田小) 鴨田律子▽大木戸
小(いわき市立警崎小) 中丸美
穂▽東北中(松陽中) 小野忠
北中(西根中) 佐藤達志▽東
北中(大笹生学園) 佐藤良弘▽
東北中(新採用) 五十嵐清人▽
東北中(新採用) 鈴木由記子

教職員の人事異動

退職(一)内は旧任
▽荒 洋(東北中教諭)
▽金子靖子(東北中教諭)
▽鶴巻正子 福島大学助教
(藤田小教諭)

転出
▽梁川町立梁川小校長(藤田小
校長) 島腹順一▽半田醸芳小校
長(藤田小教頭) 佐藤洋一▽大
石小校長(東北中教頭) 鈴木源
二郎▽梁川町立富野小教頭(大
坂小教頭) 酒井方子▽山舟生小
(藤田小) 増子桃子▽浪江町立
請戸小(藤田小) 稲垣隆一▽郡
山市立御宿小(藤田小) 白石裕
子▽笹谷小(森江野小) 山内雄啓
▽鳥川小(大木戸小) 山内藤和
▽伊達崎小(大木戸小) 門脇勇
▽松陽中(東北中) 石崎勝哉▽
桃陵中(東北中) 菊田勉▽養護
教育センター(東北中) 舟山正

建設係) 阿部正一▽農林課農林
振興係(住民福祉課福祉係) 安
藤光輝▽企画商工課企画商工係
(保健課保健衛生係) 渋谷康弘
▽生涯学習課文化振興係(總務
課財政係) 阿部善徳▽住民課年
金係(總務課庶務係) 齋藤雅敏
▽農林課農林振興係 農林課農
林振興係 実次隆之▽住民課戸
籍住民係(住民福祉課戸籍住民
係) 古川笑子

国 見 町 組 織 表

町長 富 永 武 夫		助役 大 波 健		収入役 大 内 正 美		教育長 齋 藤 久	
課 名	課 長	主 幹 及 び 課 長 補 佐	係 名	係 長	係		
総 務 課	佐野 貞治		庶 務	武田 幹夫	松田きよ江、佐藤 克成、村上 典子 松浦 英夫、齋藤 隆義 羽根 洋一、高橋美代子 引地 真		
企 画 商 工 課	吉田 貞男		財 政 文 書 広 報	佐藤 政弘 吾妻 正子	企画商工 国土調査		
税 務 課	春日 一憲		課 税 固 定 資 産 収 納	渡辺アヤ子 奥山 隆夫 渋谷 和洋	羽根田孝司、渋谷 康弘 谷津 富夫、齋藤 忠一、中條 伸喜 佐藤 光一 武田 友江、半澤 一隆、佐藤 智昭 八巻美枝子、中山ミエ子 渡邊 和巳		
住 民 課	佐藤 則雄	松浦 京子	戸籍住民 生活環境 年 金	松浦 京子 佐藤 和夫 佐藤 幸子	安藤 幸江、黒沢 敦子、古川 笑子 佐藤 光男 齋藤 雅敬		
保 健 福 祉 課	高橋 弘信	古川 比司	福 祉 保 健 増 進 国 保	佐藤 弘利 菅原 文子 古川 比司	中田 利枝、武田 正裕、東海林八重子 (兼)飯沼 正 蓬田 恭子、佐藤水無子 中野 成子、武田 京子		
保 育 所	小野 智義			木口 絹子	後藤加代子、吉田 邦子、倉田由美子 吉田 和子、渋谷 啓子		
農 林 課	吉田 孝夫	(高橋正夫)	農 林 振 興 農 地	吉田 吉夫	武田 慶子、吉田 義勝、安藤 充輝、実沢 隆之 (菊地軽子)		
農 村 整 備 課	菊地 孝吉		農 村 整 備 農 地 整 備	八島 英雄 村上 健一	佐久間 正、蓬田 英右 高子 宏子、阿部 正一、大勝 宏二		
建 設 課	後藤 澄雄		建 設 維 持 管 理	遠藤 喜正 八巻 忠義	佐野 功、村上 幸平、大津 香織、鏑水 竜一 松浦 昭一		
都 市 整 備 課	須田 善治	阿部 正	都 市 整 備 下 水 道	安田 博三 阿部 正	後藤 浩子、菊地 弘美 後藤登美子、引地 由則、鈴木 哲也		
農 業 委 員 会 事 務 局	高橋 正夫 (兼農地係)				菊地 軽子 (兼農地係)		
会 計 室			出 納	菅野 信朗	谷津美代子		
議 会 事 務 局	佐竹 弘治				菊地 富子		
水 道 課	吉田 俊江	佐久間靖明	業 務 施 設	佐久間靖明 八巻 秋夫	大波サト子 佐藤 光男、赤坂 齋		
教 育 委 員 会	次長 学校教育課	次長 大浪 敏男	小 池 芳 男	学 校 教 育	小 池 芳 男	佐竹 朝子、榑 英則	
	生 涯 学 習 課 公 民 館	鈴木 捷治	吉田 輝雄	管 理 社 会 体 育 生 涯 学 習 文 化 振 興	吉田 輝雄 小西 春彦 安藤 信男	穴戸 浩寿、(兼)飯沼 正 曳地 晴美 松野 雪子、阿部 善徳	
校 (園) 名	校 (園) 長	教 頭					
小 坂 小 学 校	佐 藤 忠 雅	原 田 徳 好					
藤 田 小 学 校	大 槻 太	大 河 内 邦 夫					
森 江 野 小 学 校	渡 部 正 俊	佐 々 木 二 郎					
大 木 戸 小 学 校	田 中 吉 明	坂 内 明 夫					
大 枝 小 学 校	加 藤 久 嗣	渡 辺 勝 則					
県 北 中 学 校	齋 藤 一 哉	遠 藤 治 一 郎		和 泉 喜 久 夫			
藤 田 幼 稚 園	大 槻 太	大 河 内 邦 夫		田 中 陽 子 紺 野 か ず 子 阿 部 正 子			
森 江 野 幼 稚 園	渡 部 正 俊	佐 々 木 二 郎		齋 藤 ア イ 子 齋 藤 由 起 子			

小中学校入学式



四月六日、町内の小学校と中学校で入学式が行われました。町教育委員会のまとめによると、新入学の総数は、小学生が百十人（前年と同数）、中学生が百五十九人（前年比二十八人増）。春本番を思わせる暖かい日差しの中、それぞれの新生活がスタートしました。

すこやかに たくましく



小学校入学式（森江野小）

森江野小（渡部正俊校長）では、午前十時に一年担任、蓮田孝夫教諭に連れられた新一年生十九人が入場したあと、渡部校長が「困っているお友達がいたらみんなで助けてあげましょう」と話しかけると、となりに座った友達と顔を見合わせてにつこ

り。

また、富永町長から「元気に、たくましく成長してください」と励ましのことがかけられたあと、教科書と入学祝品が新一年生の代表に送られました。最後に、六年生の村上智香さんが「勉強はちよっぴり大変だけど、とっても楽しいところです」と歓迎の言葉を述べました。

心身を鍛え

自分を高めて



県北中（齋藤一哉校長）の入学式は、六日午後一時三十分から同校体育館で行われました。吹奏楽部が行進曲を演奏する中入場した新一年生百五十九人

は、少し緊張気味の表情。齋藤校長が入学を許可した後、「自分自信の可能性を高めてください」と式辞を述べました。

また、富永町長は「秋には上野台運動広場が完成し、さらには多目的屋内運動場を建設することが決まっています。これらの施設を有効に使って、心身を鍛えてください」と激励。

そして、新一年生を代表して熊田基志君が「勉強と部活動に一生懸命がんばります」と誓いの言葉を述べ、式は終了しました。



誓いのことば（中学校入学式・熊田基志君）

幼稚園・保育所でも

入園式

小中学校の入学式の他に、藤田と森江野の二幼稚園、藤田保育所でも入園式が行われました。

須田さんらが退団

渡辺さんら十名が入団

町消防団辞令交付

四月三日、町消防団の辞令交付式が行われました。

富永町長が、佐藤忠美団長に辞令を交付した後、退団される須田寛一分団長らに感謝状を贈り、これまでの消防行政への協力を労いました。

その後、階級異動団員や新しく入団された皆さんに佐藤団長が辞令を交付しました。

新たに加入した団員のみならず「消防団活動に精一杯励みます」と誓いの言葉を述べました。

今回、退団する団員の皆さんは、三十七年の消防団員歴を持つ須田分団長をはじめ、消防団活動の中心的役割を担ってきた方々ばかりです。ありがとうございました。

また、新たに入団されたみなさん、よろしくお願ひいたします。

退団された皆さん（敬称略）

- 須田寛一（在職三十七年）
- 松田和男（同二十七年三月）
- 遠藤久幸（同二十六年）
- 渡辺重雄（同二十五年）
- 玉手元治（同二十一年）

松浦新一（在職二十二年）

村上清正（同二十一年）

後藤正勝（同二十年九月）

吉田 正（同九年）

佐藤正勝（同九年）

六戸仁志（同五年十月）

赤坂 昇（同三年）

鈴木正一（同三年）

■入団された皆さん（敬称略）

紺野秀人 菅野 伸

渡辺輝泰 実沢喜平

蓬田祐市 齋藤信人

鈴木正則 松田征雄

齋藤由吉 阿部 博



感謝状を受ける渡辺さん

観月台公園親水施設仮オープン

水と緑・心潤う観月台

「水と緑、心のふるさと観月台」をキャッチフレーズに、平成七年度から県営事業として整備を進めてきた観月台溜池と親水公園がほぼ完成し、三月二十九日に仮オープンしました。

この公園は、観月台文化センターを中心とした文化ゾーンに隣接し、皆さんの憩いの場となるように心がけた施設です。



テープカット
(観月台公園・月見橋で)

仮オープンの式典には、関係者ら約五十人が出席し、神事の
後、富永町長が「県内に誇れる
立派な施設ができました」とあ
いさつ。中原洋県北農地事務所
長が祝辞を述べ、水上ステージ
に架かる「月見橋」と「花見橋」
の両側でテープカットをし、参
加者全員で渡り初めをしました。

水上ステージは、観月台公園
の中心にある二号溜池の中央部
に設けられ、幅約十メートル、
長さが約二十メートルで種々の
イベントに利用できます。

また、この整備事業は総工費
約五億六千万円で県が施工し、
敷地面積は約五十万平方メー
トル。平成八年度完成を目指して
います。

- ◆今回完了した工事
 - 親水景観保全施設
 - 土工、取水工、親水護岸、波除工等
 - 生態系保全施設
 - 魚巣ブロック、汚水排水等
 - 利用保全施設
 - 遊歩道、緑化植栽、東屋、水上ステージ、照明設備、ベンチ、トイレ等

- ◆平成七年度以降施工予定の主な施設
 - 一号溜池の整備
 - せせらぎ水路、子どもの水遊び場、芝広場、緑化植栽、東屋、水飲み場、トイレ等
 - 二号溜池の整備
 - 噴水施設、緑化植栽、照明設備、車イス用スロープ、トイレ
 - その他
 - 全体施設案内板、各施設案内板

おねがい

- 愛犬運動時のフンの後始末、タバコの吸い殻、ゴミ、空き缶等はお持ち帰りください。
- 幼児や歩行者保護のため、歩道内には、自転車、ローラーボード、ローラースケート、バイク等の乗り入れはおやめください。
- サクをのりこえて、中に入らないでください。

【池の最深部は3m以上ありますからとても危険です】

- 樹木は大切に。

後継者媒酌人に感謝状

町では、活力あふれる町づくりに担い手を確保するため「国見町後継者対策協議会」を設置し、後継者不足の解消に取り組んでいます。

また、媒酌人報償金制度を設け、花嫁、花婿をお世話した媒酌人に報償金を贈っています。平成六年度後継者結婚媒酌人感謝状贈呈式が、三月二十七日、観月台文化センター大研修室において行われ、関係者など五十名が出席しました。



感謝状贈呈式では、富永武夫町長があいさつを行ったのに続き、鈴木俊博さん（藤田字一丁田三、十二の六）ら二十三名の一般後継者結婚媒酌人と村上良一さん（郡山市虎丸八の七）ら八名の農業後継者媒酌人に感謝状と記念品が贈られました。

INFORMATION

お知らせ

県青年海外派遣事業

「若人の翼」団員募集

◇応募条件

県内に居住する二十歳から三十五歳（平成七年四月一日現在）までの勤労青年

◇募集人数

団員 六十名

◇派遣時期

平成七年九月十三日(木)出発予定

◇派遣種類および主な内容

(1)地域間交流コース
(北米派遣、中国派遣)

●ホームステイや現地青年との交流等を通じて友好を深める。

●自然体験を通して、環境について学習する。

●団員が自主企画して班別に研修する。

(2)テーマ研修コース
(欧州派遣、オセアニア派遣、南米派遣)

●「環境問題」をテーマに、少人数のグループによる研修を実施する。



●団員が自主企画して班別に研修する。

◇派遣国および期間等

区分	訪問国	期間	人数
地域間交流コース			
北米派遣	カナダ	10日間	15名
中国派遣	中華人民共和国	10日間	15名
テーマ研修コース			
欧州派遣	デンマーク、ドイツ	15日間	10名
オセアニア派遣	オーストラリア、ニュージーランド	15日間	10名
南米派遣	ブラジル、パラグアイ	17日間	10名

●ホームステイ等を通じて生活体験や交流を図る。

◇町からの助成

町内在住の派遣団員には、町から六万円の助成があります。

◇募集期間

四月三日(月)～五月十二日(金)

◇申し込み・問い合わせ先

●教育委員会生涯学習課文化係
☎ 852676

乳幼児医療費

助成対象年齢が

引き上げられました

町では乳幼児の健康の保持増進を目的として乳幼児の医療費に係る一部負担金を町が助成する「乳幼児医療費助成事業」を行っています。

平成七年四月一日より従来の対象年齢(二歳の誕生日の月まで)を、「三歳の誕生日の月まで」に改め、一歳引き上げました。

■問い合わせ

●保健福祉課国保係

☎ 852111 内線143



戸籍の窓口 (3月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
政友(まさとも)	佐久間政美	第二
大矩(ひろのり)	安藤盛夫	前田
誠(まこと)	渋谷薫	光明寺
翼(つばさ)	虎岩正之	宮町南
可奈子(かなこ)	佐藤吉弘	前田
奈加(なか)	村上吉男	山根
孝則(たかのり)	佐藤典昭	大坂

結婚おめでとうございます

氏名	町内会
藤俊弘	上田
石武美香	泉原
田田富雄	保宮
武藤聖子	青森
武藤義信	青森第二
武根枝輝	本松
引藤栄マユ	滝伊達
引藤幸尋	伊達山
引藤千由	源宗
引藤美智	福島
引藤昌勝	滝宮
引藤高松	宮大
引藤美子	玉木
引藤洋	大郡

おこやみ申しあげます

氏名	年齢	町内会
若生うん	79	鳥取
菊地キチ	74	第十一
横山サキ	71	大町北
菅野カチエ	82	石母田西
菅正一郎	82	中部
菅重作	81	中前田
菅源吉	77	第八
菅伊ツエ	61	第六
菅田マツノ	85	第九
菅野キヨ	71	第十
菅野ヨ	92	第一
菅久次郎	75	山崎
菅俊希	70	宮北
菅梅	0	山

心身障害者

福祉タクシー制度 について

町では、四月から重度の心身障害者が通院等でタクシーを利用する際の経済的負担を軽減するため、タクシー利用券を交付する「福祉タクシー」制度を始めます。

■対象者

- 身体障害者手帳所持者でJRにおける第一種身体障害者
- 療育手帳所持者で重度(A)
- 精神薄弱者(第一種精神薄弱者)

■制度内容

- 一枚五百円のタクシー利用券を年間十二枚交付(一回の申込みで六枚まで発行)
- タクシー利用の際、利用券を運転手に渡し割引を受け(一回の利用で一枚使用)

■手続き

- 利用を希望する対象者は、次の物を持参し、利用資格の登録を申請してください
- △身体障害者手帳または療育手帳と印鑑

△四月二〇日(木)から申請受け付け

■受付・問い合わせ先

●保健福祉課福祉係
☎852111 内線145

税制改正について

昨年の税制改革法案の成立などにより、所得税等の改正が行われ、平成七年分の所得税から適用されます。

■所得控除額の引上げ

- 基礎控除額が三十八万円に引き上げられたほか、各種所得控除額が三万円引き上げられました。

■その他の改正点

- 配偶者控除や扶養控除の対象となる人や勤労学生控除が受けられる人の合計所得金額要件
- 白色事業専従者控除額の引き上げ
- 給与所得控除額の引き上げ
- 税率の改正
- 政党等に対する寄付金税額控除制度の創設
- 年末調整の対象となる給与の収入金額が二〇〇万円以下

平成七年分 所得税の特別減税

平成六年に引き続き平成七年分の所得税についても、特別減税が実施されます。

■対象者

平成七年分の所得税納税者

■特別減税額

平成七年分所得税の十五%相当額(最高限度額五万円)

■減税の実施方法

- 給与所得者
原則として本年六月及び年末調整時の二回に分けて、給与支払者のもとで還付または控除
- 公的年金等の受給者
原則として本年一月から六月までと、七月から十二月までの期間の二回に分けて、それぞれの期間の最終の支給月に還付されますが、最終的には確定申告によって精算

●事業所得者等

事業所得や不動産所得等がある方については、平成七年に納付する予定納税額の減税または確定申告により特別減税の適用

■問い合わせ先

●福島税務署
☎343121



人口と世帯

4月1日現在(前月比) 3月中の動き

人口

男 5,738人 (-32)	転入 58人
女 6,145人 (-28)	転出 111人
計11,884人 (-60)	出生 7人
	死亡 14人

世帯数 3,108戸(+5)

心配ごと相談 日程表

場所: 役場二階相談室
(東側入口からお入りください)

時間: 9時~12時

こまったことや、相談ごとがありましたらお気軽にご相談ください。

4月25日(火)	奥地 善作・村上ミチ子
5月8日(月)	佐久間 巖・高橋 恵子
5月15日(月)	武田 勲・齋藤 洋子

~観月台文化情報~

「津軽ひろ子歌謡ショー」

とき 平成7年4月29日(土) 午後2時・午後6時30分開演
入場料 無料(招待券を持参ください)

「アキレス・デレヴィン ピアノ・リサイタル」

とき 平成7年5月12日(金) 午後6時30分開演
プログラム ショパン「ピアノソナタ 第2番」
ドビュッシー「プレリュード 第1集より」
リスト「ピアノソナタ ロ短調」ほか

入場料 1,000円(全席自由)

*入場券取扱は観月台文化センター ☎85-2676



PUBLIC HALL NEWS

公民館だより

国見町公民館

国見町大字稲田字観月台15
TEL 0522676
FAX 0522707

保育ボランティアのお願い

子育て教室

公民館では、幼児期の家庭教育の大切さを重視し、その心構えや知識、技術などを学習するために、1〜3歳児をもつお母さんや祖父母を対象にして「子育て教室」を開いております。

子育て教室のお母さんたちが安心して勉強できるように、子どもさんのお世話を保育ボランティアの方々をお願いして参りました。昨年は十四名の方にお手伝いいただきましたが、都合で出られない方もあり、どうしても人手不足になりがちでした。国見町の次代を担う大切な子どもさんの健やかな成長を願って、より多くの方々のボランティアをお願いしたいと思います。

保育ボランティア活動のお手伝いをいただける方は、観月台文化センター内生涯学習係までご連絡ください。

就任のあいさつ

社会教育指導員 阿部義男



このたび国見町社会教育指導員として任を受け、社会教育面の任務に携わることになりました。永いこと中学校教育に専念して参りましたが、社会教育の面では素人です。

大変だろうと思いますが、多くの方々の御指導や御協力を得て、重要視されている生涯学習の実践に取り組み、よりよい成果が得られるように努力していきたいと思っております。

どうぞよろしく願っています。

就任のあいさつ

社会教育指導員 佐藤富子



このたび国見町社会教育指導員として任を受け、家庭教育を担当させて頂くことになりました。

およそ三十年学校教育に関わっておりましたが、今度は未知の分野ですので毎日ウロウロしております。一日も早く仕事を覚え職場に慣れて皆様方が楽しく有意義な活動をする事ができますように努力したいと思っております。

「三つ子の魂百まで」と昔から言われておりますように幼児のしつけは本当に大切な事だと思っております。そんな面から少しでもお役に立ちたいと張り切っております。

お礼のこぼ

加藤拙生

平成二年十月公民館にお世話になってから、四年半の月日が経ちました。この間、皆様にはほ

んとうにお世話になりました。公民館の事業の中で、家庭教育、とくに「子育て教室」を担当しましたが、高校に勤めていて、家庭教育の大切さを父兄に訴えていたのが、逆に自分でもやっていくことになり、たいへん当惑しました。

しかし、幼児教育の重要さは「三つ子の魂」といわれているように頭の中ではわかっていたのですが、実際に図書室の本などを読んで、お話を聞くと大変な仕事をやっているのだなと痛感したものです。

このように学校教育では経験できなかったことを勉強し、貴重な体験をさせて頂いたことが、ありがたく思っており、町民の皆様とお付合せて頂いたことは、私の生涯の宝であります。

最後になりましたが、皆様のご健康と、この新しい文化センターである国見町観月台文化センターのますますの発展をお祈り申し上げます。

忘れないで

加入しましょう

スポーツ安全保険

この保険は、スポーツ・文化・ボランティア活動・地域活動等

を行う五名以上のグループを対象として、往復途上も含めたグループ活動中の傷害事故および賠償責任を負う事故を補償するものです。

また、心臓マヒなどの突然死に対して共済見舞金が支払われます。

これからスポーツシーズンに入ります。万一の事故に備えてこのスポーツ安全保険に加入し活動に専念しましょう。

詳しくは、生涯学習課体育係（観月台文化センター事務室）におたずねください。

新着図書案内

観月台文化センター

図書室・児童室

みなさんご利用をお待ちしております。なお、図書室・児童室をご利用の際は、事務室で受付をしていただきますようお願いいたします。

【一般図書】

書名	著者名
大江健三郎全作品	大江健三郎
画像森鷗外	松本 清張
顔面麻痺	ヒートたけし
忍はずの女	高峰 秀子
寂聴日めくり	瀬戸内寂聴
大往生	永 六輔
天使の自立(上・下)	

シド・ニイ・シエルズ

～生涯学習で

潤いのある

人生を送りましょう～



平成7年度 教室生・学級生募集

母の恋文 谷川俊太郎
 夜 会 中島みゆき
 臨死体験(上・下) 立花 隆
 我が老後 佐藤 愛子
 【児童図書】
 書 名 発行所
 カッパのクロー 岩波書店
 雪の上の七つの太陽 " "
 りこうすぎた王子 " "
 おじさんは原始人だった 借成 社
 七つの恐怖物語 " "
 二丁目の幽霊 " "
 夜の学校に用心 福 音 館
 ジャングル・ブック " "
 宝さがしの子たち " "
 ニワトリ号一番のり " "
 他にも多数購入しましたので、
 お気軽にご利用ください。

	趣 旨	内 容	対 象	申し込み
子 育 て 教 室	幼児期の家庭教育の重要性 を自覚し、その知識や技術 などを学習する。	○期 間 平成7年5月～平成7年12月 ○回数・時間 毎月第2、第4金曜日 午前10時～11時30分 ○学 習 内 容 幼児教育の基本と心構え、しつ け、幼児画、絵本や童話の選び 方、食事と健康など。 ○おやつ代 年間 2,000円	1～3歳児を 持つ母親及び 祖父母 定員 20名	各教室・学級 への参加ご希 望の方は、申 し込み書を添 えて観月台文 化センター内 生涯学習係ま でお申し込み ください。
女 性 教 室	女性として心豊かで健康に 生きるため、教養や趣味を 身につけたり健康づくりに 努める。	○期 間 平成7年5月～平成8年2月 ○回数・時間 年間15回 午前9時30分～11時30分 ○学 習 内 容 女性の生涯学習、健康管理、時 事問題、趣味、スポーツ、グル ープ活動など。 ○運 営 費 年間 500円	町内に居住す る20歳～60歳 代の女性	望の方は、申 し込み書を添 えて観月台文 化センター内 生涯学習係ま でお申し込み ください。
成 人 学 級	現代社会に対応できる知識 や技能などを学習し、心豊 かに生きがいのある生活を 送れるようにする。	○期 間 平成7年6月～平成8年2月 ○回数・時間 年間14回 午後1時30分～3時30分 ○学 習 内 容 一般教養、映画観賞、世代間交 流、町政、料理実習、健康づく り、グループ活動など。 ○運 営 費 年間 1,000円	町内に居住す る20歳～60歳 代の男女	望の方は、申 し込み書を添 えて観月台文 化センター内 生涯学習係ま でお申し込み ください。
阿 津 賀 志 学 級	高齢化社会に適応した生き 方を自覚し、教養や趣味を 高めて、心豊かで充実した 生活を送れるようにする。	○期 間 平成7年4月～平成8年3月 ○回数・時間 年間40回(グループ活動も含む) 午前9時～11時30分 ○学 習 内 容 一般教養、健康管理、町政、草 花栽培、交通教室、グループ活 動など。 ○運 営 費 年間 1,000円	町内に居住す る概ね65歳以 上の男女	望の方は、申 し込み書を添 えて観月台文 化センター内 生涯学習係ま でお申し込み ください。

※詳しくは、お気軽に観月台文化センター内生涯学習係におたずねください。

火災予防を期して

〔初午行事〕

国見町消防団では三月の第二日曜日に初午行事を行って、いま

三月十二日、招集信号を合図に各分団ごとに集まった団員の皆さんは、分団内の消防水利の点検や放水訓練、火災予防啓発



初午

チラシを配布するなど、これからの乾燥期に備えて、防火体制の万全を期していました。
また、消防団幹部団員の皆さん十四名は、役場に集合した後、各分団の消防施設や消防水利等の要望箇所を巡視しました。

安心の

暮らしの中心

火の用心

十六名が卒団

〔藤田スポーツ少年団〕

三月十二日、藤田スポーツ少年団の卒団式が親月台文化センター大研修室で行われ、団員や父兄など七十名が出席しました。卒団式では、神津武志団長があいさつを行い、富永武夫町長らが祝辞を述べたのに続き、十



藤田スポ少卒団式

六名の卒団者一人ひとりに、神津団長から記念品が手渡されました。

男子の卒団者を代表して武田聡さんが「スポーツ少年団で学んだことを生かして頑張ります」と力強く謝辞を述べ、女子の卒団者代表の後藤由里子さんも後輩を激励することばを交え謝辞を述べました。

ジョワナ先生と交歓

〔町内小学校〕

英語指導助手のバイクロフト・ジョワナ先生が、町内小学校で交歓会を行い、児童たちを喜ばせました。

交歓会は、三月七日、十日、十三日、十四日にそれぞれ小坂小、大木戸小、森江野小、藤田



ジョワナ先生と交歓

小で行われ、ゲームやクイズを通してお互いの「ふれあい」を深めました。

森江野小学校では、二階多目的ホールに児童全員が集い、児童代表の三人が英語で歓迎のことばを述べ、ジョワナ先生が日本語で自己紹介を行った後、ジョワナ先生が話題するクイズで児童全員が楽しみました。

荒谷慈さんの結婚成功へのプロセスを語る

三月二十七日、エッセイストの荒谷慈さんを招き、親月台文化センターホールにおいて、講演会が行われました。

講演会は、国見町農業・生活改良推進協議会の主催により、後継者対策の一環として行われたものです。

荒谷慈さんは、結婚雑誌「月刊結婚潮流」の編集長を務め、地方の結婚、後継者問題をテーマに全国各地で講演を行っていただきます。「こんな女性は嫁にするな」など数々の著書があります。

荒谷さんは「平成時代の結婚事情と結婚成功へのプロセス」と題した講演のなかで、「結婚できない理由は何か」「嫁と姑の関係」などを取りあげ、熱く講演しました。

阪神大震災義援金

▷菅野 健様 (2,000円)

▷その他、321円の義援金が窓口へ寄せられました。ありがとうございます。

編集
日記

小中学校の入学式の取材をしていて、緊張している新一年生を見ていると昔の自分とオーバーラップ。ところで、今の自分は大人になった？それともイケズに？

(M)

発行・編集 国見町総務課

福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二.2の1
☎969-17

☎0245 (85) 2111 FAX0245 (85) 2181